

【書き下ろしコラム】
今週の
視点
論点
News, Trend Analysis and Opinion

前 回、前々回に引き続き、日本の農業における新型コロナウイルスへの対応に関するコラムをお届けする。沈静化しつつあるものの、いまだ再拡大に関するリスクがあるとともに、社会・経済に関しては、回復に向けた第一歩をようやく踏み出した段階である。

今回は岡山県のブドウに関する取り組みを取り上げる。先日、岡山県、JA岡山中央会などで構成される岡山県うまいくだものづくり推進本部

需要も減退している。

今回の岡山県での呼び掛けは、ブドウの房を大きくしすぎないことで、高級品ではなく、ある程度価値感のある商品にシフトしてもらうことを狙っている。最高級品の価格帯は、さすがに普段のちょっとしたぐらいと、目下ある程度の需要が見込まれる価格帯に商品群をシフトしようという考えである。前々回のコラムで紹介したように、新型コロナに苦しむ産地、農業者を支援しようと、積極的に国産農産物を購入してくれている消費者も多い。少し背伸びするくらいの価格帯であれば、そのような消費者の積極的な購入も期待できる。また、ふるさと納税の返礼品としての積極的な活用も

が、県内のブドウ農家に対して大きな房のブドウを作らないように呼び掛けたことが話題となっている。これも新型コロナの影響によるものである。

岡山県産ブドウの中で特に人気であるのが、シャインマスカットだ。国立研究機関である農研機構（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構）が開発した品種で、味がよく、皮ごと食べられて手軽なことが評価され、いまや高級ブドウの代表格の一つと言える。農研機構のアドバイザーボード委員長を務めている筆者にとっても、農研機構発の新品種がこのような高評価を得られるのはうれしい限りである。

しかし、今回のコロナ禍がシャインマスカットなど高級ブドウにも直撃している。シャインマスカットの中でも房の大きなものは最高級品とされており、輸出、贈答用、高級外食などとして販売されてきた。それが、新型コロナの世界的な感染拡大に伴い、輸出や訪日観光客（インバウンド）向けが激減しただけでなく、自粛要請に伴う外食や慶事の減少により、国内

やりやすくなるだろう。

今回の岡山県産ブドウと同じように、他の果物や和牛の一部でも、需要の変化に合わせて品質や生産量を調整する戦略が採られている。もちろん農業者にとっては販売単価が下がってしまうという課題があるが、一方で作物や家畜の種類によっては、肥料・飼料について量や成分を変える、作業内容の見直しにより労働時間を下げ、間引きの量を減らす、といった対策により、利益の減少をある程度抑え込むことが可能だと指摘されている。

感染拡大当初は、外国人の入国制限や休校措置に伴う給食中止などによる、「既に収穫された農産物」の余剰が問題であったが、これから先は、新型コロナの影響を踏まえた生産側の事

新型コロナショックを見据えた農産物の生産計画



三輪 泰史

日本総合研究所 創発戦略センター
エキスパート

みわ・やすふみ

1979年生まれ、広島県福山市出身。東京大学大学院農学生命科学研究科農学国際専攻修了。2004年に日本総合研究所入社。18年7月から現職。農林水産省の食料・農業・農村政策審議会委員をはじめ、中央省庁などの有識者委員を多数歴任。専門は農業再生による地域活性化、先進農業技術の導入支援、農業ビジネスの海外展開支援など。18年6月から農林漁業成長産業化支援機構社外取締役。

前調整が重要となってくる。農産物は植えてから収穫までに時間がかかるため、未来の需要、さらにいえば収穫時点での新型コロナの状況を予測しながら生産計画を立てないといけないという難しさがある。農林水産省や関連省庁からの積極的な情報提供に期待するとともに、収入保険制度の活用などのリスクヘッジも欠かせない。

海外での感染状況も踏まえると、残念ながら日本の農産物の需要が元に戻るまでには時間を要する。「新型コロナとうまく付き合う」ことが求められる中、農業分野においても引き続き、農水省の農業者に寄り添う手厚いサポートに加え、国産農産物の積極的な消費など、農業者と消費者が連携した取り組みが重要である。

本欄は、多胡秀人氏（地域の魅力研究所代表理事）、渡邊准氏（地域経済活性化支援機構代表取締役専務）、井上久男氏（ジャーナリスト）、橋本卓典氏（共同通信社編集委員）、小林美希氏（ジャーナリスト）、三輪泰史氏（日本総合研究所創発戦略センター エクスパート）が交代で執筆します。

時代を読む。

山陰中央新報 政経懇話会

- 多彩な講師陣
- タイムリーなテーマで確かな情報提供
- 松江、米子、浜田、益田の4地区で開催

入会などの問い合わせは

山陰中央新報政経懇話会事務局
tel.0852 (32)3477